

活動報告

前月号以降の活動

○第0605回 理事会 11月13日(水) 14:00~15:00
開催場所:広島市・グランドプリンスホテル広島
出席理事数:16名(総数17名) 出席監事数:2名(総数2名)

【あいさつ】
・青木会長
山田大会事務局長、そして何よりも池田実行委員長はじめ地元広島の方々のご尽力のお蔭で、立派な大会が挙行できることになり、河井副会長ともども安心している。参加者も700名を超える勢いで、来賓、メディアからも注目されることになるだろう。JBNの存在感を内外ともに大きく印象づけることは、わが国の工務店業界を代表する組織がJBN以外にはない、ということでもあり、そのことを強くアピールする大会としたい。
・河井副会長
先の9月17日の理事会で、広島大会を成功させるための私の訴えにこたえていただき、理事、事務局が丸となって短期間に集中的に努力されたことで今日を迎えられた。JBNが一体となったパワーは、これからの本番。理事の皆さんと現地と協力して、大会を成功させることで、今後の大きな発展のステップとしたい。

- 【報告事項】
1) 前0604回議事録の確認(平成25年10月9日(水))
2) 会員実数、住宅履歴登録数、10月度財務諸表等の月例報告(資料1)
資料に基づき事務局より説明された。
3) 広島大会について(資料2)
大会参加者数は、登録申込数が598名、これに来賓ほかで総計703名、未集計、当日申込数が見込まれるとの報告が事務局よりされた。
大会スケジュール、理事役割分担について、山田(貴)理事より資料に基づき説明された。
4) ジャパンホームショーについて(資料3)
資料に基づき成果および今後の課題について事務局より説明された。
5) その他
全木協の災害協定が三重県と12月に締結の予定となったと報告された。
6) 事務局職員二名採用の報告
新規採用者として10月21日付で上田竜也(事業部長補佐)、11月18日付で小倉京子(総務経理)

- 【審議事項】
1) 第1号議案 新規入会(連携団体・会員・協会員)の承認について(資料4)
申請のあった連携団体2団体、会員50社、協会員3社について承認した。
2) 第2号議案 スマートホーム業務委託契約書について(資料5)
電通と共同で進めてきたスマートホーム事業に関し、電通との間で業務委託契約書を結び承認した。
なお、次回1月15日開催の理事会において、電通担当の同席のもと、スマートホーム事業についての詳細報告をすることとした。

次回 2014年1月15日(水) 14:00~17:00

事務局ダイアリー・会長の動き (11月)

●事務局 ■委員会・講習会 ▲会長(白ヌキは予定)

- 11月
1日(金) ■長期優良住宅活用セミナー(岡山)
4日(月) ■長期優良住宅活用セミナー(宮崎)
5日(火) ◆三役打合わせ ▲木を活かす建築推進協議会強化部会主催
6日(水) ▲既存住宅のリフォームによる性能向上・長期優良化に係る検討会 ■長期優良住宅活用セミナー(富山)
7日(木) ▲JBN連携団体KKN(熊本県工務店ネットワーク)設立総会講演
12日(火) ■広島大会準備会 ■長期優良住宅壁量計算の実務研修会(佐賀)
13日(水) JBN全国大会in広島/大工エキスパートJBNマスターズ ◆理事会
14日(木) JBN全国大会in広島/大工エキスパートJBNマスターズ/式典・懇親会
15日(金) JBN全国大会in広島/分科会、閉会式(現場実行委員、理事)
19日(火) □長期優良住宅壁量計算の実務研修会(大阪)
20日(水) □JBN耐震診断改修施工指導者講習会1日目(大阪)
□長期優良住宅壁量計算の実務研修会(愛知)
21日(木) □JBN耐震診断改修施工指導者講習会2日目(大阪)
22日(金) □JBN省令準耐火構造利用講習会(福岡)
25日(月) □長期優良住宅活用セミナー(熊本)
26日(火) □長期優良住宅壁量計算の実務研修会(茨城)
27日(水) □長期優良住宅壁量計算の実務研修会(神奈川)
28日(木) □全木協総会 □長期優良住宅壁量計算の実務研修会(山形)
29日(金) □全木協東京都・応急仮設木造住宅施工講習会
□長期優良住宅活用セミナー(愛媛)

発行 一般社団法人 JBN・サポートセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階
TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679
E-mail: jbn@jbn-support.jp homepage: http://www.jbn-support.jp
©JBN・サポートセンター 禁無断転載

講習会・セミナー・見学会

●「長期優良住宅活用セミナー-提案力の向上-」講習会

国土交通省「平成25年度 木造住宅施工能力向上・継承事業」により、全国17の都府県で開催します。地域工務店が長期優良住宅を受注するための有効な方法を学習します。各社が消費者にどのように説明しているか、JBN次世代の会が講師を務め、取組事例を具体的に紹介します。長期優良住宅の申請から、住宅履歴情報の活用についても解説します。

主催:一般社団法人JBN
受講料:1,000円(テキスト代含む)
開催時間:13:00~17:00
講師(敬称略・順不同):JBN次世代の会/鈴木晴之(大和工務店)、青木哲也(青木工務店)、池田浩和(岡庭建設)、竹脇拓也(タケワキ住宅建設)、橋本英俊(橋本建設)、菟田誠(こもだ建総)、吉田薫(創建舎)、小林弘典(水戸工務店)、大瀧浩司(大功建設)、アドバイザー/木村信夫(福井コンピュータ)、遠藤龍一(富士山木造住宅協会)、榮喜美(アーキサポート)、いえかて(住歴情報)/折田信生・高瀬茂幸・鈴木理恵(ペタリーピング)
開催日程:13:00~17:00

12月 3日(火) 新潟(70名)	西浦原職業訓練協会
6日(金) 鳥取(60名)	コカ・コーラウエストスポーツパーク
2014年1月 16日(木) 青森(70名)	青森総合社会教育センター
20日(月) 山形(70名)	ホテルメトロポリタン山形
24日(金) 秋田(50名)	秋田県青少年交流センター
29日(水) 福島(60名)	福島県建設労働組合連合会

●「長期優良住宅壁量計算の実務」研修会

国土交通省「平成25年度 木造住宅施工能力向上・継承事業」により、全国15の都道府県で開催します。長期優良住宅の認定基準に関連する耐震等級を中心に、木造住宅の構造性能を正しく理解し、住宅の新築・改修工事への対応力向上と実務への応用が目的の研修会で、耐震等級の計算(手計算)を重点的に学習します。

主催:一般社団法人JBN
共催:JBN連携団体
受講資格:JBN会員企業に所属の従事者
受講料:1名1,000円
講師:齊藤年男(細田工務店)
開催日程:9:30~16:30(愛媛会場のみ10:00~17:00)

12月 3日(火) 岡山(50名)	ラヴィール岡山
4日(水) 兵庫(60名)	神戸国際会館
10日(火) 山梨(60名)	山梨県自治会館
17日(火) 静岡(50名)	富士交流センター
2014年1月28日(火) 熊本(60名)	グランメッセ熊本

●「JBN耐震診断改修施工指導者」講習会

国土交通省「平成25年度 木造住宅施工能力向上・継承事業」により、全国5か所で開催予定。2日間連続講習で、耐震診断から改修まで一貫して行える実務者育成が目的。PC演習をすることでより、実践的な診断・改修について学習します。

主催:第1日目 日本建築防災協会 第2日目 一般社団法人JBN
受講資格:JBN会員企業に所属する従事者
受講料:1名5,000円
講師:日本建築防災協会
開催時間:第1日目 9:30~16:30 第2日目 9:00~17:30
開催日程:2013年12月5日(木)・6日(金) 会場:徳島県 すだちホール
2014年1月23日(木)・24日(金) 会場:滋賀県 榊八興会議室
定員:各50名
問合先・申込先いずれも:JBN事務局 03-5540-6678

新しい刊行物

●地域工務店の省エネ住宅仕様事例集

一さあ、始めよう、一次エネルギー消費量表示—大会・第三分科会(環境委員会)「地域工務店ならではの省エネ住宅仕様の先進事例を学びつくす」のテキストとして編集、刊行されました。20社26事例が紹介されています。JBN・環境委員会監修・刊行協力:創樹社
刊行:JBN 2013年11月
定価1500円(税込) A4・66ページ



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

JBN サポートセンター・レポート

Japan Builders Network

特集・JBN全国大会 in広島 2013 開催記録ダイジェスト

- ①全国大会 in広島 式典・全国から700名を超える参加者
- ②大工エキスパートJBNマスターズ大会/懇親会 盛大に交流
- ③分科会5つの新たな市場展開! 活発な討議
- ④前月の活動報告・事務局ダイアリー

2013 December

No.53

12月号

JBN全国大会 in広島 2013 700名を超える参加者

地域社会に貢献する工務店組織の存在を内外に強くアピール

■JBN大会式典 13日(木) 13:00

JBN中野栄吉監事の宣言で開会されました。国旗に向かい国歌斉唱、物故会員への黙禱に続き、JBN工務店憲章を河井JBN副会長の先導のもとに全員で唱和。開催地を代表して広島工務店協会 河井会長が挨拶(前号1面)をしました。続いて、青木JBN会長が挨拶をしました。

【挨拶要旨】中小の地域工務店の全国組織JBNが全国大会を開催する主な目的は3つ。その1は、大工の育成、雇用に真剣に取り組む業界団体であることを内外に訴えること。第1回大工エキスパートJBNマスターズ大会の開催につながる。その2は、地域工務店の生き残りを考えること。基調講演、分科会テーマ・5つの新たな市場展開の開催目的でもある。その3は、木造建築を担う中核的な業界として活動を強化すること。JBNの組織の特徴は、これらをサポートする仕組みを備えていること。個々では不可能なことも組織で取り組みれば大きな力になる。人口減、空家増、良質な住宅ストック対応、耐震性、省エネ、低炭素などの性能向上など、社会の変化への対応、地域社会への貢献のための業界組織であることがJBNの存在理由。そのことを確かめ、強くアピールする大会としたい。

来賓からの祝辞は、広島県 湯崎知事にはじまり、広島市 松井市長まで、地元選出の衆参議員、中央省庁から国土交通省木造住宅振興室 林田室長、林野庁木材製品技術室 坂田室長、環境省地球温暖化対策室 増田課長補佐がそれぞれの施策との関連でJBNへの期待などのエールが寄せられました。



大会会場・グランドプリンスホテル広島



大会受付



青木JBN会長の挨拶



来賓祝辞

上段左:湯崎知事
中央:林田室長
右:松井市長
下段左:坂田室長
中央:増田課長補佐

■全国大会次期開催地への引継ぎ式

JBN神奈川県・山田会長へJBN広島県・河井会長から、JBN旗が手渡されました。山田会長は、今大会が盛大に挙行されたことに感謝し、これほど立派な大会にする自信はないが、組織相応の大会にしたいと抱負をのべ、来年10月9日、10日に横浜ランドマーク・ホテルでの開催を宣言しました。



引継ぎ式でJBN旗が引き継がれた

■基調講演「200年住宅と地域工務店」元内閣総理大臣 福田康夫氏

JBNは長期優良住宅普及促進法の制定と相前後して創設され、活動の大きな柱が、地域の工務店による長期優良住宅の生産供給の支援と普及でした。先導モデル事業、地域ブランド化事業に積極的に取り組み、JBNが「信条とする「地域の木で、地域の技で、地域の家」づくりのためのさまざまな条件への対応と整備を進めてきました。5周年記念大会に長期優良住宅の生みの親ともいふべき福田康夫元首相に、「200年住宅と地域工務店」と題し、基調講演をいただきました。



福田元総理大臣

700名近い満席の参加者を前に終始にこやかに、かつ強く訴えられたのは「いいものを永くちゃんと使う」住まいのありかたが国民の資産力を高め、豊かな生活の実現につながるということでした。それを支えるのが地域の工務店であり、その役割は大きい。みなさんの活動を力づけたい、支援も惜しまないという熱いエールもおくっていただきました。地球環境への負荷低減、循環型社会の実現、そして地域の環境、社会、経済、文化への貢献など、これからの地域工務店の役割、使命にも触れていただきました。



満席の会場

JBNホームページでも、JBN全国大会 in広島 2013 会場の様子がご覧になれます。開催内容は報告集として大会記念誌にまとめ、新年早々にはお届けする予定です。

第1回 大工エキスパートJBNマスターズ大会 11月13日(水)~14日(木)

JBNが信条とする「日本の木で、日本の技で、日本の家」づくりを支える大工エキスパートが優れた技能と技術を磨き、競いあうことを通じて、これからの地域工務店の重要なスタッフとして、その育成と活躍を促すことを目的として開催されました。

競技は、新人部門とリーダー部門に分かれ、建築大工技能士の技能検定課題を基本にプラス応用力を競いました。全国から45名(うちリーダー部門20名)が参加しました。13日(水) 12:30から開会式、13:00から競技を開始し、17:30までの4時間半。翌14日(木)は8:00から11:30までの計8時間内で作品の完成をめざし、技能力と応用力(作品)を競いました。

リーダー部門の最優秀作品賞(林野庁長官賞)に加藤康吾さん(愛知・加藤建設)、最優秀技能賞(林野庁長官賞)に佐藤長栄さん(秋田・株式会社ヤナギヤ)。新人部門の最優秀作品賞(広島県知事賞)に大石貴之さん(愛知・株式会社建設)、最優秀技能賞(広島市長賞)に松井基展さん(広島・株式会社加度商)。大工育成と雇用のモデル事業所表彰として、JBN会長賞に武部建設株式が選ばれ、式典で表彰されました。



開会式 近藤主査が競技内容を説明



リーダー部門・最優秀賞



選手と所属事業所、仕事などの紹介と作品制作図



左から陽田、片岡、和田、中野、近藤主査、柳谷、荻原、小沼の競技委員



事業所表彰-JBN会長賞



地元工業高校生300人が競技を見学



新人部門・最優秀賞

式典・第3部 JBN 功績表彰

○JBN連携団体表彰…(一社)富士山木造住宅協会、(一社)信州木造住宅協会の2団体に表彰状と楯が贈られました。
○JBN会社表彰…(株)サン工房、(株)池芳工務店、エコワークス(株)の三社に表彰状と楯が贈られました。



祝宴 18:30 ~ 21:00

広島工務店協会の柿田勝司さん、坂本さかえさんの司会進行により、祝樽が担ぎこまれ、佐々木徹副会長の開宴の挨拶ではじまりました。鏡開きに続いて、岩城光英参議院議員の音頭で乾杯、松井広島市長が式典で挨拶された「広島は酒がうまいとこじゃけー、えっと飲んで広島を存分に味わい尽くしてつかーさいのー」となり、神楽、余興などで宴は盛り上がりしました。



15日(金) 9:00-12:00 分科会「5つの新たな市場展開」

5会場に分かれ、各テーマごとにゲスト・コメンテーターによる基調提言と委員会メンバー、関係者による討論が展開されました。いずれの会場でも事例に基づく具体的な実務ベースの意見交換が中心で、会場からの質疑応答も活発に行われました。参加者からは勉強になった、実務の参考になったという声が多く聞かれました。各会場でも回収したアンケートによれば、大会全体について「満足」49%、「やや満足」24%、「どちらでもない」26%でした。分科会ごとの評価については、それぞれの成果、課題とともに報告される予定です。ここでは委員長のコメントと写真を紹介します。



当日の会場受付



真剣に聴講する参加者

第1分科会 (次世代の会) 地域ネットワークの構築と「地域型住宅のブランド化」 —新たなリーダーとしての地域工務店—

地域ならではの家づくりと細やかな対応が本来の工務店の魅力であり、地域産業のリーダーとなる条件でもある。素材づくりから加工、現場施工までの関係者との連携をはかり、住宅の地域型ブランドをどう構築していくかをテーマに、それぞれの立場から議論した。参加者からも多くの意見が出された。課題は拾い出されたが、そのための具体的な行動規範づくりにはこれから。次世代の会のメンバーが中心となりそれら取り組むことにしたい。(鈴木会長)

■配布資料
■協力メディア:日刊木材新聞社



安藤直人GC(東京大学客員教授)による基調講演



パネル・ディスカッション

第2分科会 (既存改修委員会)「地域工務店が拓くこれからのリフォーム事業」

委員会活動の一環として、各地の地域工務店を訪ね、事例を収集してきた。今回のパネラー4社は、この一か月に訪ねた29社から特に参考になる事例を発表してもらった。そのうちの一例が地域の行政との連携。これまでの営繕修理ではなく、リフォーム事業をビジネスとして定着化していくためには、地域への貢献のありかたも含め、地域工務店にとって何が可能で、どんな取組みがのぞましいか、リフォーム事業にもさまざまなありかたを考える良い機会となった。(玉置委員長)

■配布資料:「地域工務店のリフォーム事例集」、「バリアフリー改修から始める快適リフォーム」、「性能向上リフォームで生まれ変わる家」
■協力メディア:日本住宅新聞社



今井信博GC(現代計画研究所代表)による基調講演



パネル・ディスカッション

第3分科会 (環境委員会)「地域工務店ならではの省エネ住宅仕様の先進事例を学びつくす」

環境委員会は100名の定員を超える参加者で分科会が開催できた。6社の事例報告の後、コメンテーターの秋元先生から講評をいただき、参加者を変え活発なディスカッションを行うことができた。当初の目的である、「自社の標準住宅で一次エネルギー消費量を計算してみよう」というメッセージは多くの参加者に届いたと思う。20社26事例の事例集の価値についても秋元先生から高く評価していただいた。多くの会員に有効利用していただきたい。(安成委員長)

■配布資料:「地域工務店の省エネ住宅仕様事例集」
■協力メディア:創樹社(ハウジングトリビューン)



秋元孝之(芝浦工業大学教授)による基調講演



パネル・ディスカッション

第4分科会 (大規模木造研究委員会)われわれ地域工務店は中大規模木造建築の市場にどう参入するか

中型・大型木造建築の市場は、地域工務店が新たに取り組む分野です。とはいえ、横架材にどの部材を使うといいのか? 構造計画は? 構造計算は? 疑問は尽きません。こういった疑問を解決するための分科会です。木造建築は、もっとも環境に負荷をかけない工法であり、S造、RC造と比較して、コスト、減価償却、解体費用の面でも優等生になっています。

現在、当委員会が進めている福井県での約1,000㎡の工場建設の共同実験では、S造に比べて、2~3割のコスト減になる見込みだ。

■配布資料:やればできる中大規模木造(JBN)など
■協力メディア:新築ハウジング



腰原幹雄GC(東京大学教授)による基調講演



事例発表とディスカッション

第5分科会 (中古住宅流通WG)「中古住宅流通が生み出す地域工務店の新ビジネス」木造建築の市場にどう参入するか

われわれ地域工務店が今後生き残るには、不動産業者・建築業者の垣根を越えた協働、あるいは消費者へのワンストップ・サービスが必須となる。リフォームと中古住宅流通とを一体にしたビジネスモデルとして、WGメンバーが取組んだ事例を報告し、地域の特性に応じたビジネスモデルの構築について議論が展開でき、課題も見えてきた。私自身も大きな刺激になったし、新しい一歩を踏み出そうという方向は会場の参加者にも伝わったと思う。(坂下主査)

■配布資料:日経ホームビルダー連載記事ほか、パネラー(4社の資料-A4約20P)
■協力メディア:日経BP社



安達功GC(日経BP社建設局長補佐)による基調講演



パネル・ディスカッション